

E P O 中部運営業務

令和 7 (2025)年度 業務実施計画



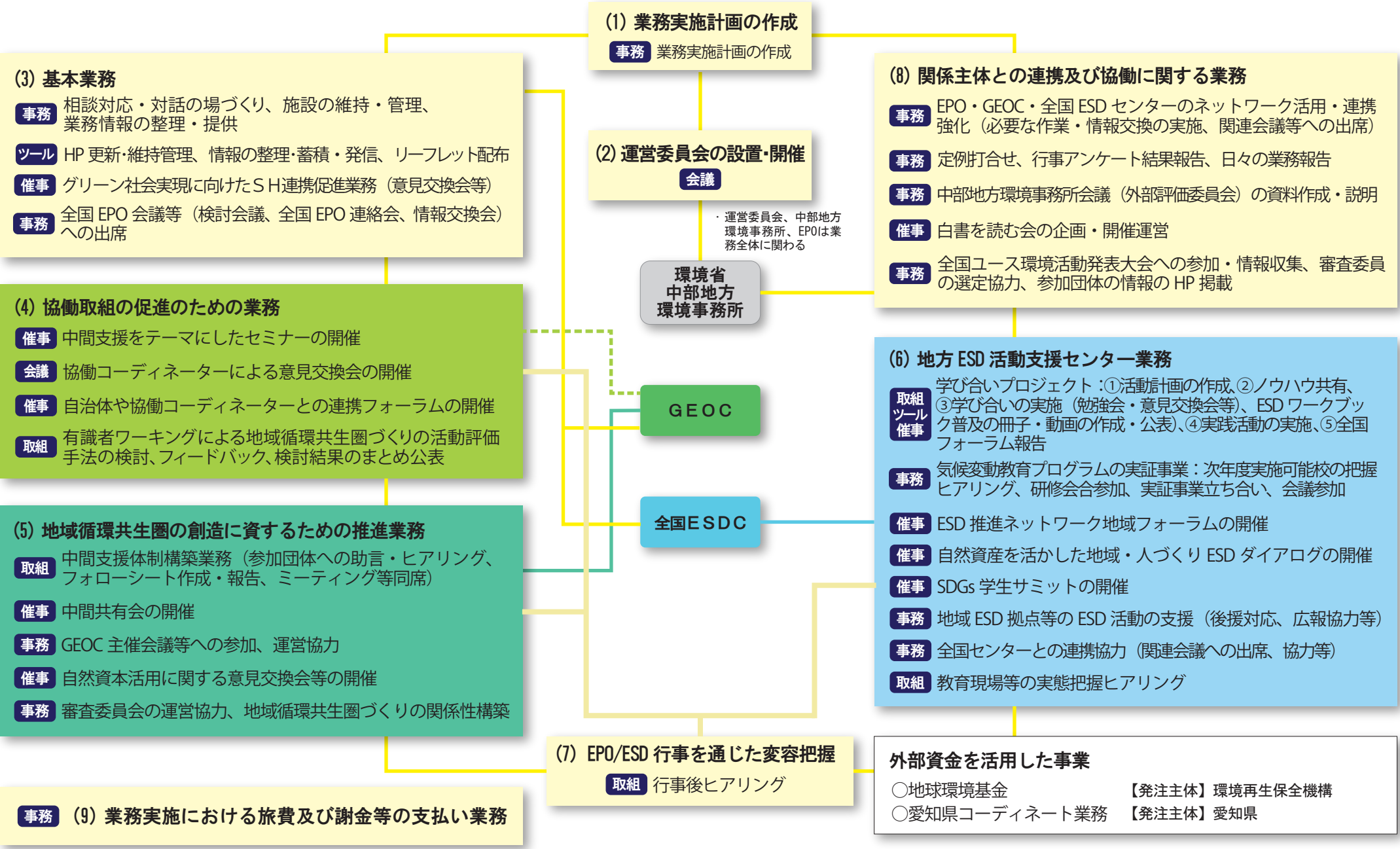
中部環境パートナーシップオフィス運営業務
令和7年度（2025年度）業務一覧

第7期3カ年度の目標

2030 年を見据え中部地方のローカル SDGs 達成に向け地域循環共生圏に資する地域環境活動の面的拡大を加速化させます。

今年度目標

地域ニーズを踏まえ統合アプローチ（CN・GE・NP）による3分野（環境・社会・経済）貢献取組に向けた地方ネットワークの強化を行います。



2025年度業務スケジュール案

仕様書業務項目		業務内容		主担当	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
1	業務実施計画の作成	令和7年度業務実施計画案、達成目標の作成	原、富田	作成	運営委員会への提	修正	公開												
2	運営委員会の設置・開催	EPO中部・中部地方ESD活動支援センター運営委員会の設置・開催【2回】	富田	資料作成、開催準備・調整	運営委員会1開催	開催結果とりまとめ	公開					資料作成、開催準備・調整	運営委員会2開催	開催結果とりまとめ→公開					
3	基本業務	3-1	ホームページ(EPO/ESD)の更新・維持管理	富田、小松	月2回以上の更新を適宜実施														
		3-2	収集した情報の整理・蓄積・発信	小松	情報収集、メルマガ配信などを適宜実施														
		3-3	リーフレットの配布	富田	イベント等で配布、必要に応じて増刷														
		3-4	相談対応、対話の場づくり(交流・マッチングの場づくり、フォロー、資料等の閲覧対応、ESD関連支援・普及等)	原、富田、小松	適宜実施														
		3-5	グリーン社会実現に受けたSH連携促進業務:座談会・フォーラム等主催【4回(半日)】、他団体主催勉強会等参加・協力【2回(半日)】	清本、原、富田	関係主体との調整	運営委員会に諮る	企画・準備	座談会1		座談会2		勉強会等参加・協力		座談会3		勉強会等参加・協力	フォーラム		
		3-6	全国GEOC主催会議に出席:検討会議【1回】、全国EPO連絡会【3回】、情報交換会【1回】	清本、富田	適宜出席														
		3-7	施設の維持管理	富田、小松	適宜実施														
		3-8	得られた情報やネットワークの整理・提供	富田、小松	適宜実施														
4	協働取組の促進のための業務	4-1	中間支援をテーマにしたセミナー【1回(半日)】	富田	各連携主体にヒアリング	運営委員会に諮る	関係地域・団体との調整、企画・準備・広報						セミナー開催	運営委員会に報告					
		4-2	地域主体との連携によるフォーラム【2回(半日)】	富田	↓ 企画案等を作成		連携する協働コーディネーターとの調整、企画・準備・広報				フォーラム1開催	調整、企画・準備・広報	フォーラム2開催						
		4-3	協働コーディネーターによる意見交換会【1回(半日)】	富田	関係者調整		意見交換会			フィードバック		フィードバック							
		4-4-1	有識者ワーキングGによる活動評価手法の検討【3回(半日)】	原	関係者調整、企画立案		WKG1実施	参考	WKG2実施	フィードバック資料作成		WKG3実施							
		4-4-2	検討結果のフィードバック、成果まとめの作成・公表	原			評価手法検討	フィードバック	成果まとめ作成			WEBへの公開							
		5	地域循環共生圏の創造推進業務	5-1	中間支援体制構築業務:参加団体への助言、四半期フォローシート記入・報告、着手時打合せ、ミーティング同席 等	富田	打合せ実施	各団体を適宜支援	フォローシート作成・提出				フォローシート作成・提出			次年度展開の打合せ	フォローシート作成・提出	運営委員会に報告	
5-2	中間共有会【1回(2日)】			富田	日程調整 → 実施場所等を関係者と調整 → 企画						準備	中部中間共有会							
5-3	GEOC主催会議等出席:キックオフM【1回】、中間支援ギャザリング【1回】、作業部会【2回】、事業検討会議【2回】			富田	適宜参加														成果共有会
5-4	審査委員会への運営協力			富田													ヒアリング → 審査委員会出席		
5-5	身近な自然資本の活用に関する意見交換会【2回(半日)】			清本、原、富田	中部事務所との調整	運営委員会に諮る	関係者との協議・調整		企画案作成	準備	意見交換会等1		準備	意見交換会等2					
5-6	地域循環共生圏創造の担い手への情報提供、つながり維持の関係構築			富田	適宜実施														
全業務の実施結果のとりまとめ／年間報告書の提出																			

2025年度業務スケジュール案

仕様書業務項目			業務内容		主担当	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
6 中部地方 ESD活動 支援セン ター運営 業務	6-1-1	学び合いP:①活動計画の作成、②ノウハウ共有(作業部会出席【2回】)、⑤全国フォーラムで報告【1回】	原	企画案作成				活動計画作成	有識者検討会で検討	作業部会に適宜出席									
	6-1-2	学び合いP:③-1学び合いの場【2回】、④実践活動	原	関係者との調整					準備・広報	学び合い1・2	実践活動		全国フォーラムで報告						
	6-1-3	学び合いP:③-2有識者検討会【3回】、ワークブック普及冊子・動画の作成・公表・配布	原	関係者との調整					有識者検討会1		有識者検討会2	冊子・動画の作成	有識者検討会3		冊子・動画の公表・配布				
	6-2	気候変動教育プログラムの実証事業:R8年度実施可能校の把握ヒアリング【2校】、研修参加【1回】、全国C事業立ち合い【1回】、関連会議出席【1回】	原	関係者との調整 → ヒアリング先の検討 →ヒアリング実施					研修参加、事業立ち合い、関連会議出席を適宜実施										
	6-3	ESD推進ネットワーク地域フォーラムの開催【1回(半日)】、ポスター作成	原	企画案作成	運営委員会に諮る	関係者との調整・準備 広報(ポスター等作製・配布)				フォーラム開催									
	6-4	自然資源を活用した地域・人づくりESDダイアログ【1回(2日)】	原	企画案作成		関係者との調整・準備・広報					ESDダイアログ開催								
	6-5	SDGs学生サミット【1回(半日)】	原	企画案作成		関係機関との調整				登壇学生チームの募集		準備・広報	学生サミット開催						
	6-6	地域ESD拠点等の活動支援	小松	適宜対応															
	6-7	全国センター会議への出席・連携協力:連絡会【2回】、協力団体意見交換会【2回】、活動状況調査等への協力	原	適宜出席・協力															
	7	6-8	教育現場の実態把握と連携強化:専門家【1名(2時間)】／教育関係者【2名(各2時間)】／中小企業経営者【2名(各2時間)】	原						業務関係者の専門家・教育関係者・中小企業等へのヒアリング実施					とりまとめ				
		行動変容の把握:主催行事参加者へのヒアリング(3月中旬までに)【6事例】	原、富田											業務の連携・協力者6団体へのヒアリング、結果とりまとめ					
8 関係主体 との連携 及び協働 に関する 業務	8-1	EPO・GEOC・ESDセンターのネットワーク活用及び連携の確保・強化のための会合出席	清本、原、富田	適宜出席															
	8-2	事務所担当官との定期的な打合せ、日々の業務を毎月報告	清本、原、富田、小松	適宜実施(月1回以上の打合せ、月次報告)															
	8-3	事務所開催会議(外部評価委員会等)の資料作成・説明【1回(半日)】	清本、原、富田											資料作成等の対応		外部評価委員会			
	8-4	白書を読む会の企画、会場運営支援【1回(3時間)】	富田			関係者との調整、協力事項確認	会場運営準備等		白書を読む会開催										
	8-5	全国ユース中部大会に参加【1回(半日)】、審査委員の選定、活動団体情報のWEB掲載	清本、小松						審査委員の推薦				中部大会に参加	参加団体のWEB掲載					
9	業務実施における旅費及び謝金等の支払い業務		小松、小栗	適宜実施															
10	外部資金を活用した事業:地球環境基金／愛知県環境学習コーディネート業務		清本、小松、小栗、服部	環境再生保全機構、愛知県環境学習プラザと連携して適宜実施															
成果物の提出:第1～3四半期報告書、年間報告書(及び概要版)			富田				第1四半期報告書提出						第2四半期報告書提出			第3四半期報告書提出			年間報告書提出

全業務の実施結果のとりまとめ／年間報告書の提出

EPO中部令和6年度事業アウトプット目標等一覧

仕様書業務項目		業務内容(イベント:オンライン活用・併用)	担当	外部関係者とその役割	インプット(仕様書、計画書)		アウトプット(指標)			アウトカム		備考	
					催事、情報発信	調査、研究、作成、支援	コンテンツ等、情報の発信、記録	設備・システム・知見など	参加者(数)、対象者(数)など	アウトカム指標(アウトプット評価に加え)	アウトカム(予想される成果)		
1	業務実施計画の作成	令和7年度業務実施計画案、達成目標の作成	原、富田	・外部有識者:必要に応じて助言		・令和7年度の業務実施計画の作成 ・アウトプット、アウトカム目標、指標の検討	・令和7年度業務実施計画書 ・令和7年度アウトプット・アウトカム目標一覧表			・担当官、運営委員会等関係者による当年度EPO中部ESDC計画としての内容の十分な認知 ・各指標による評価の実施と説明による、担当官、運営委員等の理解	・令和7年度業務遂行計画として事業推進の内容の見える化 ・それぞれの業務についてのアウトプット、アウトカム評価可能性確保		
2	運営会議	EPO中部・中部地方ESD活動支援センター運営委員会の設置・開催【2回】	富田	・外部有識者:運営委員として議論参加、助言	・ESD/EPO中部運営会議(2回)	・8名以上の運営委員(6～3級相当)で構成 ・年1回以上、委員の情報(役職、所属)に変更がないか確認 ・運営委員に業務参画を促すための進捗状況情報を適宜提供	・会議資料、議事録		・各回7名以上の参加	・業務に活用された運営委員による有用な意見(議事録) ・業務に運営委員の積極的な参画を得た知見の活用(業務記録)	・運営委員より有用な意見をいただき業務への積極的な参画を得ることによる効果的な活動を展開への寄与		
3	基本業務	3-1	ホームページ(EPO/ESD)の更新・維持管理	富田、小松	・専門業者:相談(管理問い合わせ等)		・HPの更新	・HPのページ更新(月2回以上)	・ページビュー数(昨年度同水準以上)	・更新されたHPIに対するご意見(運営会議委員ご意見など)	・HPIによるEPO中部ESDCの認知の拡大と好感度の向上		
		3-2	収集した情報の整理・蓄積・発信	小松			・メールマガジンの作成・発行 ・SNSによる情報発信	・メールマガジン(月1回以上) ・SNS記事	・情報発信回数(昨年度同水準以上)	・情報発信頻度の維持、拡大 ・コンテンツに対するご意見(運営会議委員ご意見など)	・EPO中部ESDCの認知の維持、拡大 ・好感度の向上、掲載情報利用の拡大		
		3-3	リーフレットの配布	富田	・印刷:外注(必用に応じ)		・リーフレットの配布(印刷は必要に応じ)	・リーフレット(必用に応じて情報更新A4フルカラー必要部数)	・配布数(昨年度同水準以上)	・配布部数の増加、リーフレットに対するご意見(運営会議委員ご意見など)	・リーフレットによるEPO中部ESDCの認知の拡大と好感度の向上		
		3-4	相談対応、対話の場づくり(交流・マッチングの場づくり、フォロー、資料等の閲覧対応、ESD関連支援・普及等)	原、富田、小松	・外部の様々な活動団体:活動等参加先	・相談・照会対応と助言、実施内容の記録 ・各種協議会や地域活動等への参加と情報収集。マッチング支援や助言 ・ニーズに応じた講師等派遣 ・(他団体主体の)審議会、委員会、検討会、会議等への参加	・相談対応票 ・協議会、地域活動、支援等の参加記録 ・講師派遣の記録 ・(他団体主体の)審議会、委員会、検討会、会議等の関係人数一覧		・紹介・相談件数 ・資料収集数、参加件数 ・講師等派遣回数、対象人数 ・審議会、委員会、検討会、会議等の関係人数(昨年度同水準以上)	・全体件数の増加、助言に対する実績 ・記録件数の増加 ・講師派遣件数、対象者人数の増加 ・参加する審議会、委員会、検討会、会議等の件数の増改、関係人数の増加	・紹介・相談による環境保全活動等への貢献 ・関連する情報の集積、連携・協働体制の構築、ノウハウの蓄積の推進 ・各種の審議会、委員会、検討会、会議等の情報収集、関係主体へのEPO中部ESDCの認知と好感度の向		
		3-5	グリーン社会実現に受けたSH連携促進業務:座談会・フォーラム等主催【4回(半日)】、他団体主催勉強会等参加・協力【2回(半日)】	清本、原、富田	・各省地方支部局、経済団体、自治体、金融機関等	・情報交流会やワークショップ等の開催のための支援及び開催運営業務(関係者との調整、開催の広報、当日の運営(会場の確保含む)、講師への旅費・謝金の支払いなど) ・有識者、活動団体、企業、ユースなど6名程度による座談会3回(東海地域、北陸地域、長野県内各1回想定) ・有識者、活動団体、企業、ユースなど6名程度を招いての公開フォーラム1回(半日程度、30名程度) ・付帯し他団体等が主催する勉強会等への参加、協力(2回程度、半日程度、2名程度)		・座談会開催記録(3回) ・フォーラム開催記録(1回)	・共進化に関する議論の知見	・座談会参加有識者6名程度(3回) ・フォーラム参加者30名程度(1回) ・他団体主催勉強会参加、協力2名派遣(2回)	・地域循環共生圏に資する共進化に関する知見の集積、人的交流実績	・地域循環共生圏の創造促進のための情報の共有、ネットワークの形成	
		3-6	全国GEOC主催会議に出席:検討会議【1回】、全国EPO連絡会【3回】、情報交流会【1回】	清本、富田		・GEOC主催会議:検討会議【1回】、全国EPO連絡会【2回】、NW強化ミーティング【1回】に参加			・EPOネットワーク、全国情勢の情報	・各会合への職員の参加	・EPO中部に反映させるべき知見	・GEOC、EPOネットワークや施策動向の把握	
		3-7	施設の維持管理	富田、小松			・日常管理	・業務日報等の文書	・良好な施設空間環境の維持				
		3-8	得られた情報やネットワークの整理・提供	富田、小松			・次年度以降に活用できる、上記3-1～3-7で得られた情報やネットワークについての整理	・事務所担当官と相談の上、作成する様式にのっとった整理情報			・R7年度整理による次年度以降の情報、ネットワークの活用事例	・EPO中部ESDC活動の効率化、拡大、発展	
4	協働取組の促進のための業務	4-1	中間支援をテーマにしたセミナー【1回(半日)】	富田	・中間支援組織関係者、地域関係者による連携や中間支援機能強化	・勉強会(1回、3時間、30名程度)		・開催記録	・参加者30名程度	・参加者の意識(アンケート)、ご意見や感想(ヒヤリング、アンケート)	・参加した関係者の意識向上、認知の拡大、知見の増加、きっかけとしての行動		
		4-2	地域主体との連携によるフォーラム【2回(半日)】	富田	・協働コーディネーター、地域関係者との連携	・実践的取組(2回程度、半日程度、30名程度)		・開催記録	・参加者各30名程度 ・中間支援団体等との連携協働実績	・参加者の意識(アンケート)、ご意見や感想(ヒヤリング、アンケート)	・参加した関係者の意識向上、認知の拡大、知見の増加		
		4-3	協働コーディネーターによる意見交換会【1回(半日)】	富田	・協働コーディネーターの参加、候補者紹介	・情報・意見交換会(1回、2時間程度、10名程度、状況に応じてオンライン開催可)		・開催記録	・参加者各10名程度	・参加者の感想、意見(課題とニーズ)	・意見交換による情報共有と動機づけによる活動意欲の向上		
		4-4-1	有識者ワーキングGによる活動評価手法の検討【3回(半日)】	原	・関係する有識者等による検討	・有識者によるワーキング3回	・地域SDGs評価メニュー、プログラム等の情報収集と活用	・開催記録	・各会有識者3名の参加	・地域SDGs評価メニュー、プログラム等の活用効果に関する専門家意	・地域SDGs評価メニュー、プログラム等の活用の知見		
		4-4-2	検討結果のフィードバック、成果まとめの作成・公表	原	・関係する専門家等、事例対象の取組団体等		・対象事例の状況ヒアリング等	・地域SDGs評価フィードバック試行、成果取りまとめレポート	・地域SDGs評価メニュー、プログラム等の活用実践	・対象事例対象者への活動評価			
5	地域循環共生圏の創造推進業務	5-1	中間支援体制構築業務:参加団体への助言、四半期フォローシート記入・報告、着手時打合せ、ミーティング同席 等	富田	・中間支援団体、活動団体、関係者、GEOC	・必要に応じた中間支援団体が活動団体に対して行う支援の場への同席、活動団体が開催するステークホルダーミーティングへの参加など	・中間支援主体)が中間支援機能を向上・発揮し、地域循環共生圏づくりの中間支援を実施できるようになるための支援 ・地域循環共生圏づくりに必要な中間支援機能や、支援を行う上での課題や成功要因等の分析、全国事務局への共有 ・活動団体に対する月1回以上の連絡調整、助言 ・中部地方環境事務所より依頼される団体採択に関わる意見照会、とりまとめへの対応 ・四半期に1度程度、中間支援主体に対する支援内容や、支援する中での課題・成功要因等を、「フォローシート」に記入報告 ・年度当初の中間支援主体に対する年間の支援目標、支援計画等について打合せ、必要に応じた中間支援目標や年間支援計画の修正支援、その内容フォローシートへの反映、必要に応じて活動	・打ち合わせ結果と、中間支援主体に対するフォローシート等(年度当初及び四半期に1度GEOCに提出)	・地域循環共生圏取組みの中間支援についての知見	・中間支援団体に対する支援(3団体) ・活動団体との連絡調整(月1回以上)	・各団体の構成員、担当官、専門家等の関係者のご意見や感想 ・EPO担当職員、関係者の意見、感想を含む対象中間支援団体、活動団体の取組評価	・中間支援団体の活動団体への支援能力の向上と活動ネットワークの拡充 ・地域循環共生圏の取組に対する中間支援方法とその効果についての知見の蓄積	
		5-2	中間共有会【1回(2日)】	富田	・中間支援団体、活動団体、関係者、全国支援事務局、GEOC	・中間共有会(1回程度、2日程程度)		・中間共有会開催記録	・各団体同士、関係者での情報共有	・関係3中間支援団体、活動団体、関係者の参加	・各団体の構成員、担当官、専門家等の関係者のご意見や感想 ・EPO担当職員、関係者の意見、感想を含む対象中間支援団体、活動団体の取組評価	・中間支援団体の活動団体への支援能力の向上と活動ネットワークの拡充 ・地域循環共生圏の取組に対する中間支援方法とその効果についての知見の蓄積	

EPO中部令和6年度事業アウトプット目標等一覧

仕様書業務項目		業務内容(イベント:オンライン活用・併用)		担当	外部関係者とその役割	インプット(仕様書、計画書)		アウトプット(指標)			アウトカム		備考
						催事、情報発信	調査、研究、作成、支援	コンテンツ等、情報の発信、記録	設備・システム・知見など	参加者(数)、対象者(数)など	アウトカム指標(アウトプット評価に加え)	アウトカム(予想される成果)	
		5-3	GEOC主催会議等出席:キックオフM【1回】、中間支援ギャザリング【1回】、作業部会【2回】、事業検討会議【2回】	富田	・中間支援団体、活動団体、関係者、GEOC	・キックオフミーティング(オンラインを想定、1回、2日程度、5月開催を見込む)、作業部会(都内予定、2回程度、1回当たり3時間程度、都内)、地方EPO等共有会(オンラインを想定、1回、3時間程度)、地域循環共生圏づくり支援体制構築事業検討会議(オンラインを想定、1回、3時間程度)、成果共有会(都内を予定、1回、2日程度、3月開催を見	・キックオフミーティング及び成果共有会にむけての活動(採択)団体の資料作成等支援、当日の意見交換補佐		・参加による情報共有 ・資料作成等支援と意見交換補佐	・各会合への職員の参加	・各団体の構成員、担当官、専門家等の関係者のご意見や感想 ・EPO担当職員、関係者の意見、感想を含む対象中間支援団体、活動団体の取組評価	・中間支援団体の活動団体への支援能力の向上と活動ネットワークの拡充 ・地域循環共生圏の取組に対する中間支援方法とその効果についての知見の蓄積	
		5-4	審査委員会への運営協力	富田	・審査委員会委員(有識者3名程度) ・新規応募団体、継続団体	・採択審査会運営協力 ・継続審議機会参加(1名)	・新規団体の事前ヒアリング協力		・新規採択団体の採否 ・継続団体の採否		・次年度共生圏づくり支援体制構築事業対象団体	・地域循環共生圏構築の推進	
		5-5	身近な自然資本の活用に関する意見交換会【2回(半日)】	清本、原、富田	・地域の自治体、企業、金融機関	・身近な自然資本を活用した地域づくりに関する意見交換会の実施(2回を想定、各半日程度、各30名程度)。		・身近な自然資本を活用した地域づくりに関する意見交換会開催記録		・有識者3名程度(2回) ・参加者30名程度(2回)	・参加者の意識、ご意見や感想(アンケート、ヒヤリング)	・自然資本を基盤とする地域づくりに関するパートナーシップの促進	
		5-6	地域循環共生圏創造の担い手への情報提供、つながり維持の関係構築	富田	・5-1～5-5の関係者	・地域循環共生圏創造の担い手に対しての地域循環共生圏に関する情報提供	・地域循環共生圏創造の担い手、背景情報及び活動状況について情報収集 ・つながりを持続けられるような関係性の構築		・地域循環共生圏創造の担い手、背景情報及び活動状況についての情報、つながりを持続けられるような関係性			・EPO中部の地域循環共生圏活動に関する知見の増加	
6	中部地方ESD活動支援センター運営業務	6-1-1	学び合いP:①活動計画の作成、②ノウハウ共有(作業部会出席【2回】)、⑤全国フォーラムで報告【1回】	原	・全国ESD活動支援センター、地域ESD活動支援センター、地域ESD拠点	・全国センターが開催作業部会出席【2回】 ・全国フォーラム結果報告【1回】	・活動計画の作成	・活動計画書 ・全国フォーラム参加記録				・ESDネットワークにおける中部ESDC活動の情報共有と理解の促進	
		6-1-2	学び合いP:③-1学び合いの場【2回】、④実践活動	原	・全国ESD活動支援センター、地域ESD活動支援センター、地域ESD拠点、地域地球温暖化防止活動推進センター等、有識	・学び合いの場【2回】 ・実践活動【1回】		・学び合いの場【2回】開催記録 ・実践活動【1回】開催記録		・学び合いの場【2回】のべ15名 ・SDGs社会教育WG【3回】有識者と実務者計4人 ・実践活動【1回】30名	・参加者の意識(アンケート)、ご意見や感想(ヒヤリング、アンケート)	・ワークブックの活用による「ローカルSDGsのためのESDの社会実装」への貢献	
		6-1-3	学び合いP:③-2有識者検討会【3回】、ワークブック普及冊子・動画の作成・公表・配布	原	・有識者による検討	・有識者による検討会【3回】	・ワークブック活用のための調査、情報収集 ・ワークブック活用方法の検討	・有識者による検討会開催記録 ・ワークブック活用方法の取りまとめと動画	・関連する実例、知見	・各会有識者3名の参加	・検討内容についての運営委員など関係者のご意見	・ワークブックの活用による社会ESDの促進	
		6-2	気候変動教育プログラムの実証事業:R8年度実施可能校の把握ヒアリング【2校】、研修参加【1回】、全国C事業立ち合い【1回】、関連会議出席【1回】	原	・気候変動に展開できる探究学習について企業と連携している高校	・「教職員等環境教育・ESD推進リーダー養成研修」参加(1回、1名程度) ・プログラム調整・実施に係るオンライン会議等の参加(1回あたり1時間、2回、2	・企業と連携する高校のヒアリング等によるニーズ把握(2校程度)	・ヒアリング結果(2校)			・R8年度事業実施に向けた準備		
		6-3	ESD推進ネットワーク地域フォーラムの開催【1回(半日)】、ポスター作成	原	・地域ESD拠点、ESD関係者	・ESD推進ネットワーク地域フォーラム開催(1回、半日程度、30名程度)		・開催用ポスター ・地域フォーラム開催記録		・ESD拠点、関係者等(30人程度)	・ESD拠点関係者の意見や感想(アンケート等)	・地域におけるESD活動の課題やニーズ、普及・啓発の効果的な手法等について参加者同士の共有	
		6-4	自然資源を活用した地域・人づくりESDダイアログ【1回(2日)】	原	・ジオパーク等、環境省地域資源(自然公園等)、関係する教育機関 ・登壇者による講演、話題提供、講評、ディスカッション	・「自然資産を活かした地域・人づくりESDダイアログ」の開催【1回、2日、30人程度】		・ダイアログ開催記録		・参加者30名程度 ・有識者5名程度	・参加者の意識(アンケート)、ご意見や感想(ヒヤリング、アンケート)	・参加した関係者の意識向上、認知の拡大、知見の増加	
		6-5	SDGs学生サミット【1回(半日)】	原	・中部地方の大学研究室、高校、地方自治体、NPO等 ・有識者によるファンリテーター、講評	・ESD/SDGs推進ネットワーク地域フォーラム中部学生サミット【1回(半日)ノオンライン】	・活動分析へのSDGsチェックリストの概念活用	・開催記録		・会場参加10名程度 ・サミット参加、オンライン視聴100名程度 ・自治体、企業等発表3件程度	・参加者の意識等(アンケート)、ご意見や感想(ヒヤリング、アンケート)	・参加した関係者の意識向上、認知の拡大、知見の増加	
		6-6	地域ESD拠点等の活動支援	小松	・地域ESD拠点関係者		・地域ESD拠点情報交流、ESD拠点登録支援			・ESD拠点登録数 ・3基本業務に含む	・ESD拠点関係者の意見や感想(ヒヤリング)	・中部地方のESDネットワークの拡充	
		6-7	全国センター会議への出席・連携協力:連絡会【2回】、協力団体意見交換会【2回】、活動状況調査等への協力	原	・全国ESD活動支援センター、地域ESD活動支援センター	・ESD活動支援センター(全国・地方)連絡会(都内予定、2回、各1日、各2名程度)参加。 ・全国協力団体意見交換会(2回、半日程度、各2名程度)及び企画運営委員会(2回、2時間程度、2名程度)オンライン等参加。	・ESDの考え方をベースに、「地域循環共生圏」の人づくりのための域資源を発掘しと活用 ・活動状況調査等に対する情報・資料の提供等の協力・対応		・関係する情報、資料 ・議論の結果としての知見		・中部ESDC担当者の知見	・ESD全国センター等ネットワークとの連携	
		6-8	教育現場の実態把握と連携強化:専門家【1名(2時間)】ノ教育関係者【2名(各2時間)】ノ中小企業経営者【2名(各2時間)】	原	・SDGs、ESDに詳しい専門家 ・SDGs意思のある教育部局、教育委員会、現場の教員 ・SDGs、ESD活動を行っている中小企業		・専門家への包括的ヒアリング(オンライン、2時間程度、1回、大学教授級1名想定オンライン) ・教育関係者へのヒアリング(オンライン、2時間程度、2回程度) ・経営者等へのヒアリング(オンライン、2時間程度、2回程度)	・ヒヤリング結果			・ヒヤリング対象の感想 ・運営委員等の外部評価	・有意義な知見の入手 ・ESD、SDGs専門領域との連携強化	
7			行動変容の把握:主催行事参加者へのヒアリング(3月中旬までに)【6事例】	原、富田	・4～6の関係者		・行動変容のためのコアメンバーに対する簡易的ヒアリング(電話、メール等)	・行動変容のためのコアメンバーに対する簡易的ヒアリング結果		・行動変容のためのコアメンバーに対する簡易的ヒアリング(6事例程	・ヒヤリング結果の分析と解釈	・地域循環共生圏構築行動など持続可能社会に貢献する行動変容	
8	関係主体との連携及び協働に関する業務	8-1	EPO・GEOC・ESDセンターのネットワーク活用及び連携の確保・強化のための会合出席	清本、原、富田									
		8-2	事務所担当官との定期的な打合せ、日々の業務を毎月報告	清本、原、富田、小松		・定期的打合せ(月1回以上)	・月次報告様式への記入作成	・様式記入の月次報告			・関係者の意見	・中部地方環境事務所との協働による円滑な運営	
		8-3	事務所開催会議(外部評価委員会等)の資料作成・説明【1回(半日)】	清本、原、富田	・外部評価委員	・外部評価委員会等での資料に関する説明(名古屋市内、1回程度、半日程度、3名程度)	・中部地方環境事務所開催会議への出席、資料作成対応 ・令和7年度の達成状況の自己評価	・外部評価委員会対応資料 ・令和7年度の達成状況の自己評価書			・関係者の意見、評価	・中部地方環境事務所との協働による円滑な運営 ・EPO中部ESDCに対する適正な評	
		8-4	白書を読む会の企画、会場運営支援【1回(3時間)】	富田		・白書を読む会の企画運営支援	・企画運営サポート記録	・企画運営サポート記録			・関係者の意見	・中部地方環境事務所との協働による円滑な運営	
		8-5	全国ユース中部大会に参加【1回(半日)】、審査委員の選定、活動団体情報のWEB掲載	清本、小松		・活動団体情報のWEB掲載	・全国ユース大会への参画、審査委員選定	・全国ユース大会参画、審査委員選定結果 ・活動団体情報のWEB掲載		・選定審査委員	・関係者の意見	・中部地方環境事務所との協働による円滑な運営	
8			業務実施における旅費及び謝金等の支払い業務 外部資金を活用した事業:地球環境基金ノ愛知県環境学習コーディネート業務	小松、小栗 清本、小栗、小松、富田		・適正な支払い		・支払い記録 ・成果報告書			・会計部署の承認 ・ネットワーク形成	・適正支出の明確化 ・EPO中部活動への貢献	
			成果物の提出:第1～3四半期報告書、年間報告書(及び概要版)	原、富田、小松			・報告書の作成	① 第1～第3四半期報告書 1部(A4版40頁程度 ホッチキス止め可電子媒体(DVD-R)1式) ② 年間報告書 2部(A4版100頁程度、簡易製本可)及び概要版:2部(A4版6頁程度、ホッチキス止め可)					